

# 平成 26 年 9 月卒業生アンケート結果

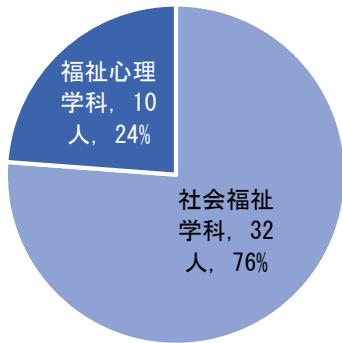
9 月卒業生 74 名に対して、アンケート調査を実施いたしました。42 名の方からご回答をいただきました(回収率 56.7%)。その結果を集計いたしましたので、在学生の方は今後の通信教育での学習にご活用いただければ幸いです。

また、いただいた結果は、大学としても、今後の通信教育部の改善につなげていくように利用させていただきます。

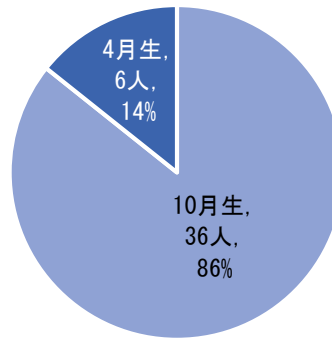
卒業生の皆様のますますの活躍を祈念しております。

1 まずあなた自身のことをお聞きします ※あてはまる項目に○をつけ必要事項をご記入ください。

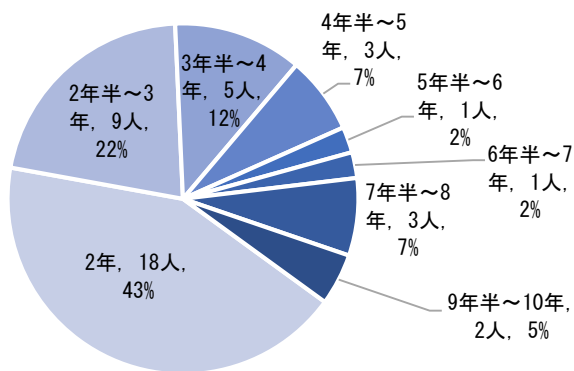
1) 卒業学科



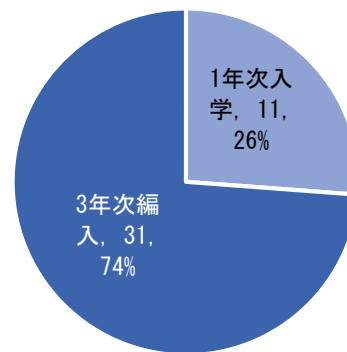
2) 入学月



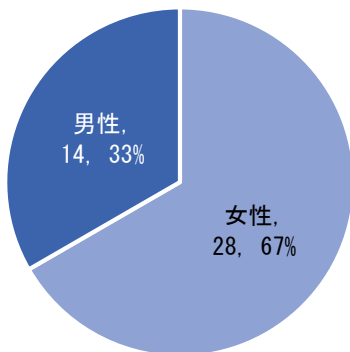
3) 卒業までの在学年数



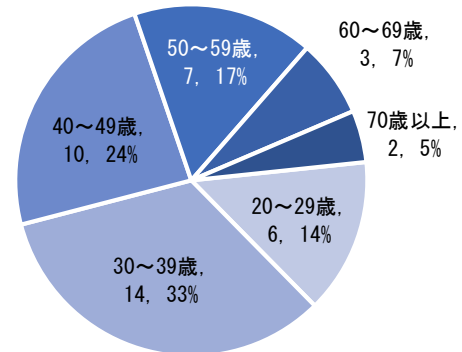
4) 入学コース



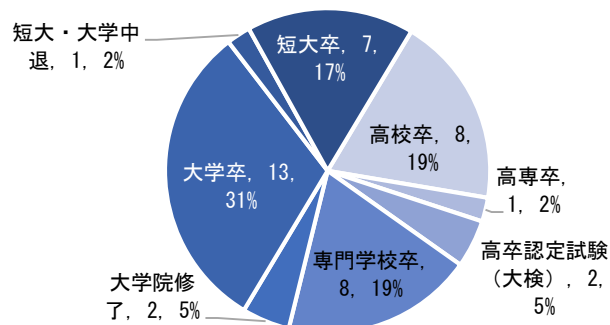
5) 性別



6) 年齢

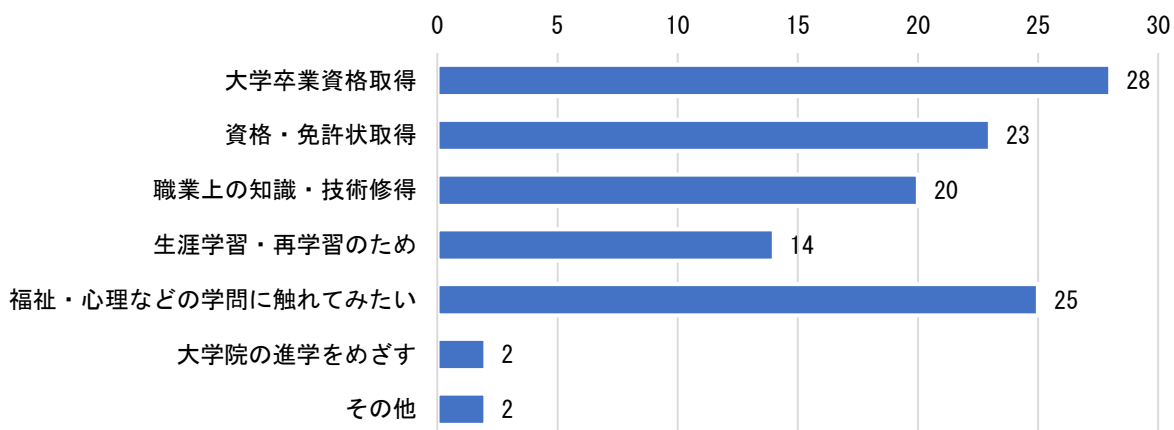


7) 入学時の最終学歴

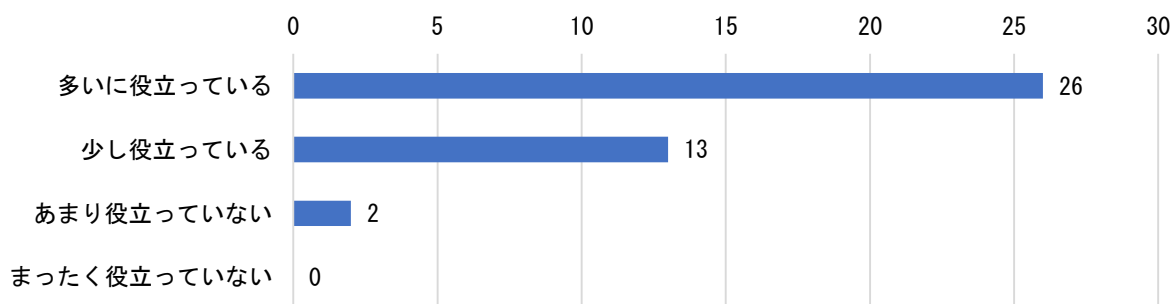


## 2 本学通信教育部に入学された目的・理由と成果についてお聞きします。

### 1) 入学時の目的・理由について達成できたもの（あてはまるものすべて）をお答えください。

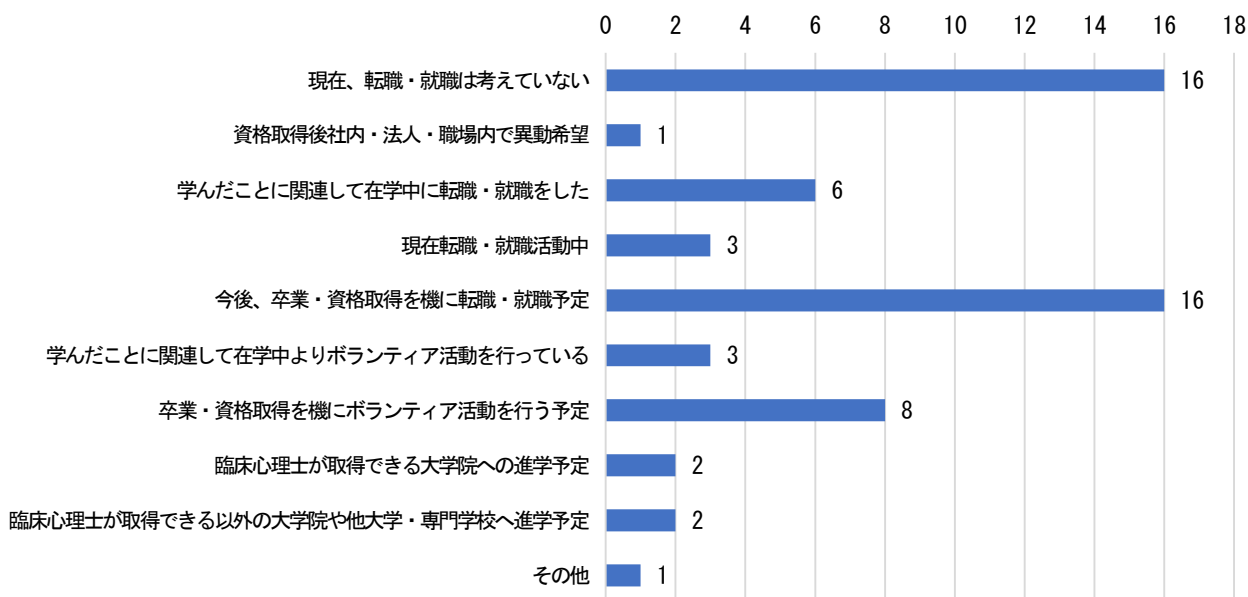


### 2) 通信教育部での学習は、職場や家庭などの日常生活で役立っていますか。

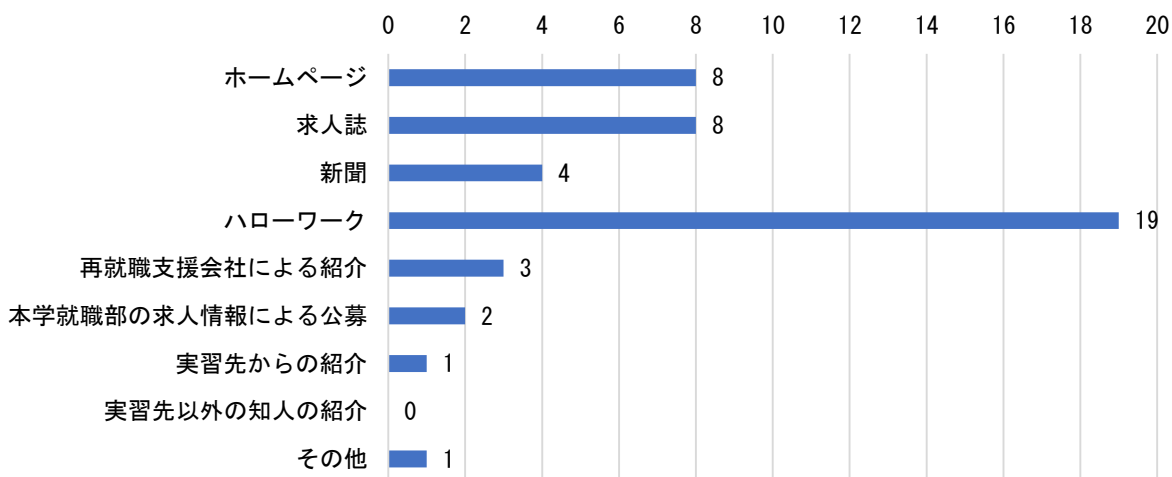


## 3 卒業後の進路についてお聞きします。

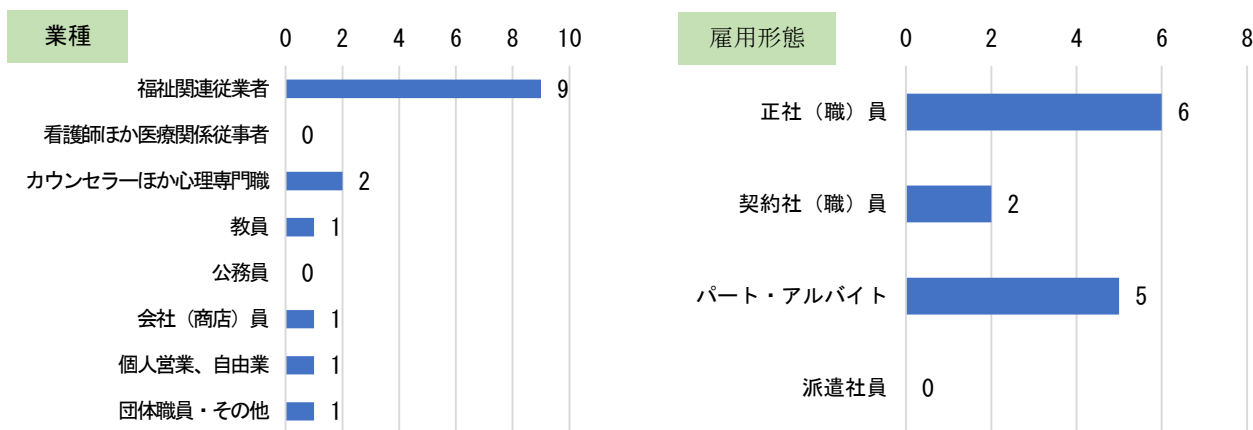
### 1) 在学中・卒業後「卒業・資格・学んだこと」を活かし転職・就職・進学します（ました）か。（1つまたは2つ以内で○をつけてください）



2) 転職・就職活動を行った（または行う予定）方にお聞きします。転職・就職先の情報はどのような方法で得ましたか（得る予定ですか）（あてはまるものすべてに○をつけてください）

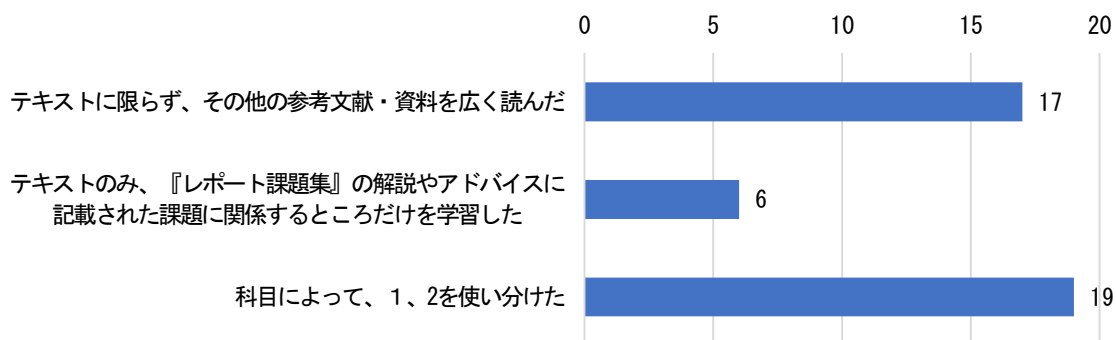


3) 転職・就職・職場内異動を行った（または行う予定）方にお聞きします。転職・就職先・移動（予定も含む）後のご職業をお答えください。

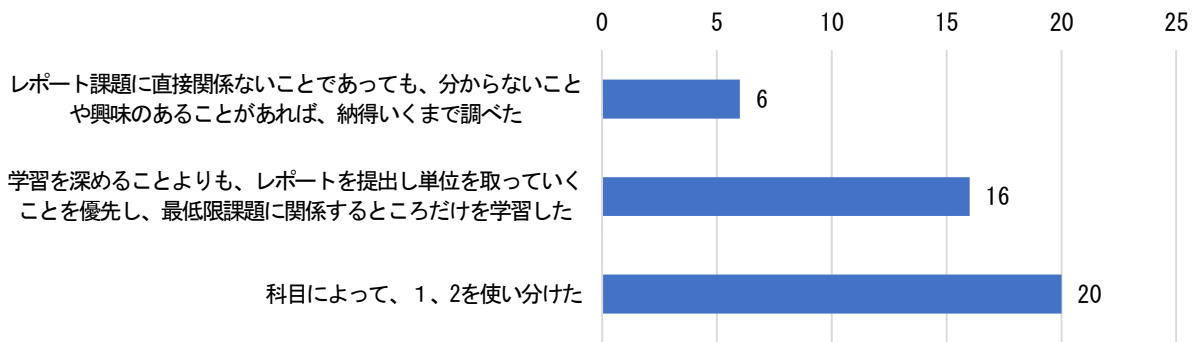


#### 4 学習全般についてお聞きします。

1) あなたはテキストをどのように読まれましたか。（あてはまるもの1つに○をつけてください）

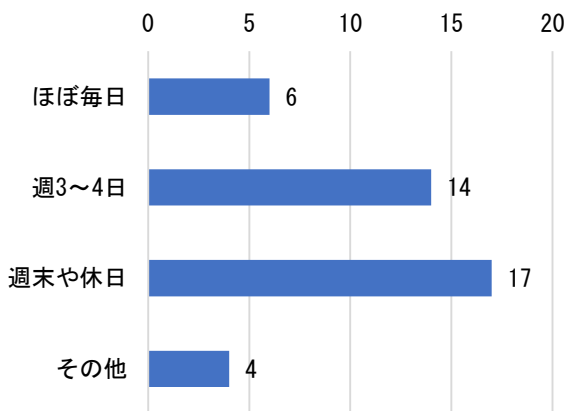


2) あなたは学習に対してどのように取り組まれましたか。(あてはまるもの1つに○をつけてください)

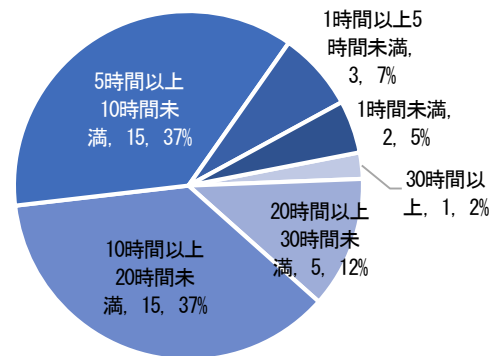


3) 普段どの程度学習しましたか。

学習の頻度

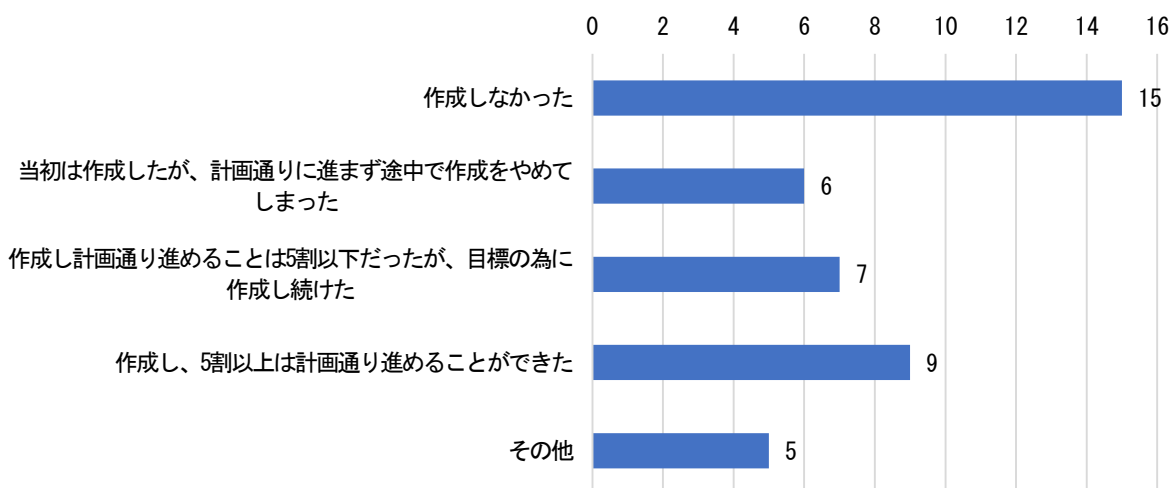


1週間(7日間)の平均・合計学習時間

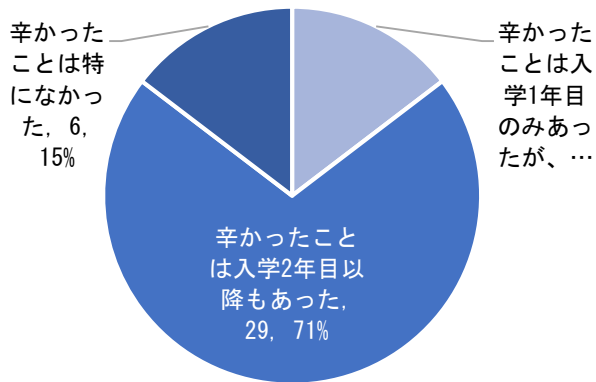


(おおむね。教科書を読む時間、参考文献を探す時間、レポート学習・オンデマンドスクーリング、国家試験対策を含む。ただし、会場スクーリングの受講時間は除く)

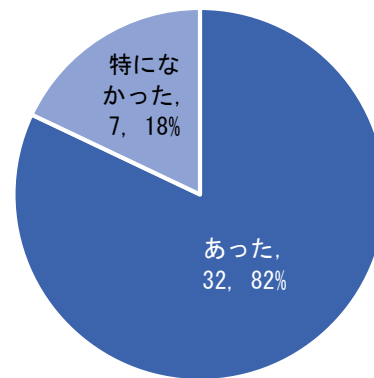
4) 学習計画を作成しましたか、また計画通りに進むことはどの程度ありましたか。



5) 学習をしていて辛かったことはありましたか。

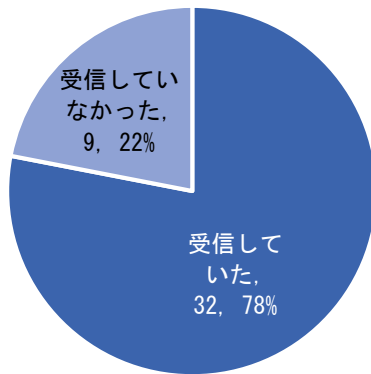


6) 学習をしていて楽しかった（面白かった）ことはありましたか。



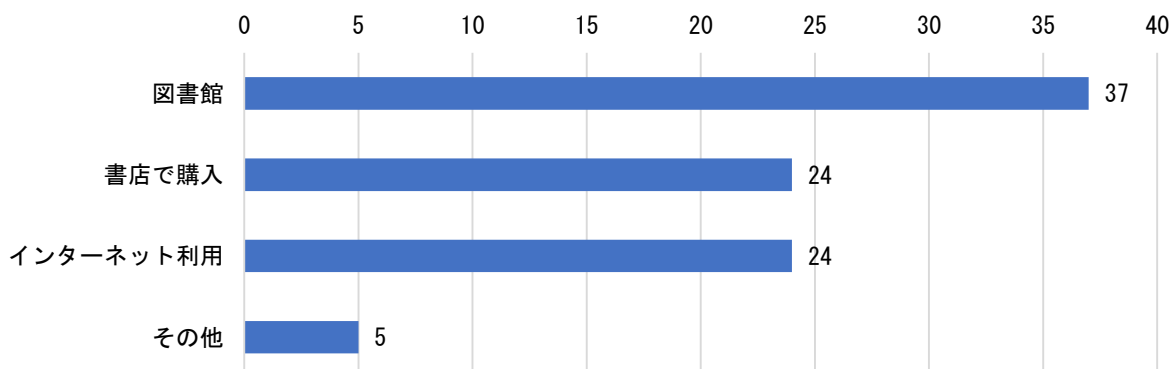
5 通信教育部からの一括メール配信についてお聞きします。

通信教育部からの一括送信メールを受信していましたか。

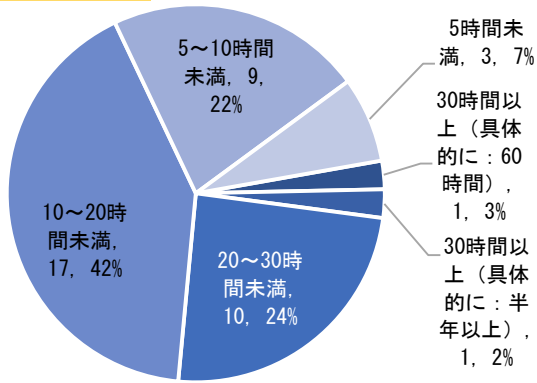


6 レポート学習についてお聞きします。

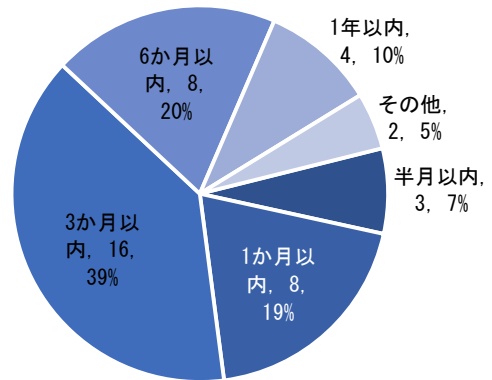
1) テキスト以外に参考文献（資料）を利用した方は入手方法をお教えてください。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



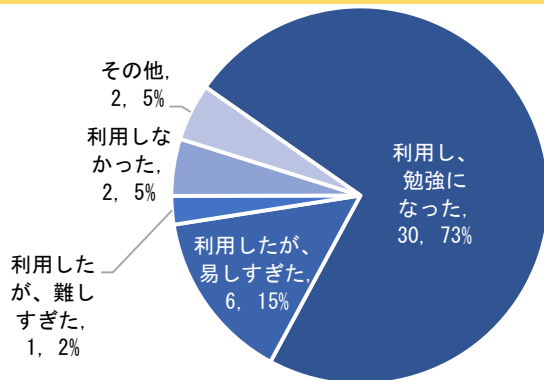
2) 1 単位分 (1 課題) のレポート (論述式のもの) 作成に要した平均延べ時間はどれくらいですか。(おおよそ)



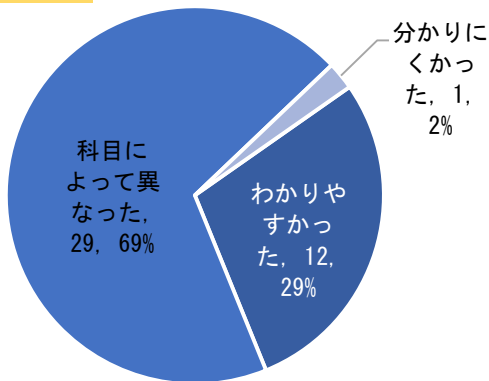
3) 初めてレポートを提出したのは、入学後どれくらいの時期ですか。



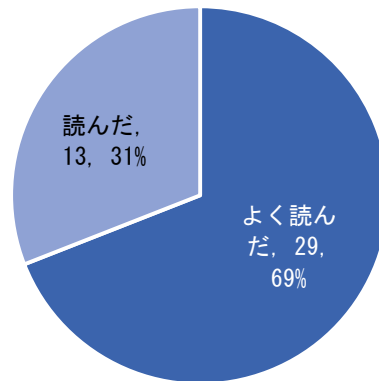
4) スクーリング受講者専用別レポート (O×式、穴埋め式など) について



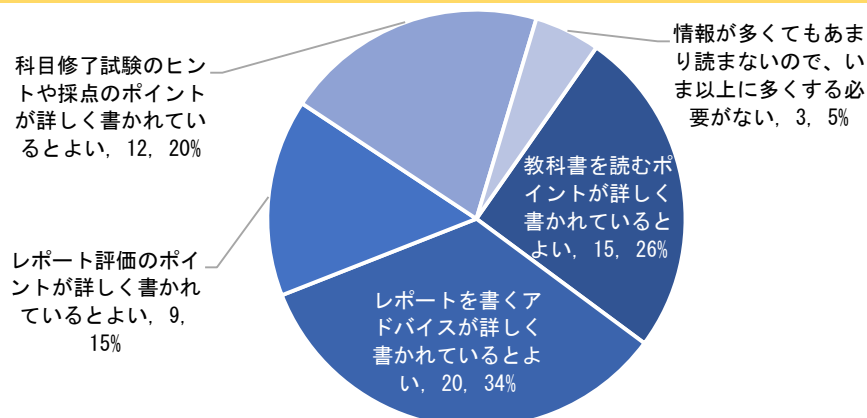
5) 『レポート課題集』の記載内容はわかりやすかったですか



6) 『レポート課題集』のアドバイスは読まれましたか。

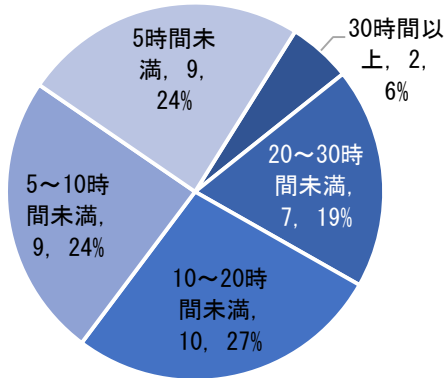


7) 『レポート課題集』の記載内容を、詳しくする予定もありますが、どう思われますか。



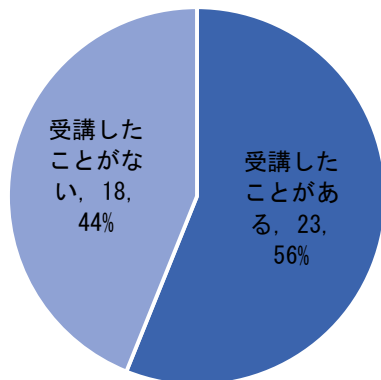
7 科目終了試験についてお聞きします。

1 科目の科目修了試験準備に要した平均延べ時間はどれくらいですか。(おおよそ)

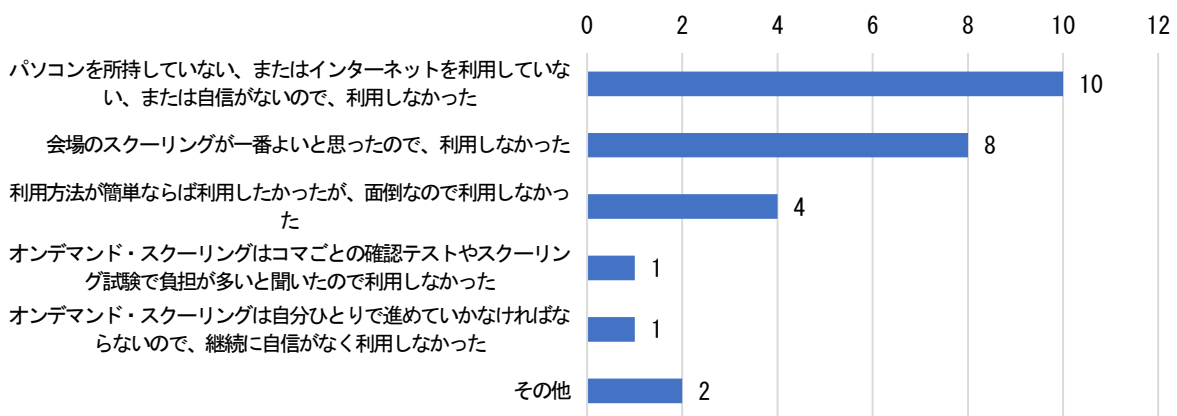


8 オンデマンド・スクーリングについてお聞きします。

1) オンデマンド・スクーリングは受講したことがありますか。



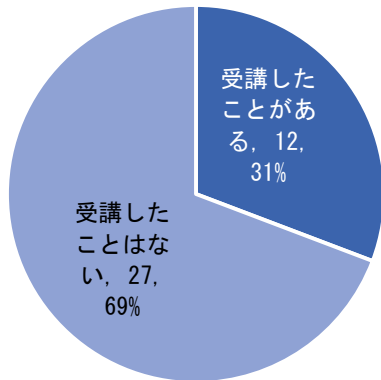
2) オンデマンド・スクーリングを受講しなかった方は、その理由をお知らせください。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



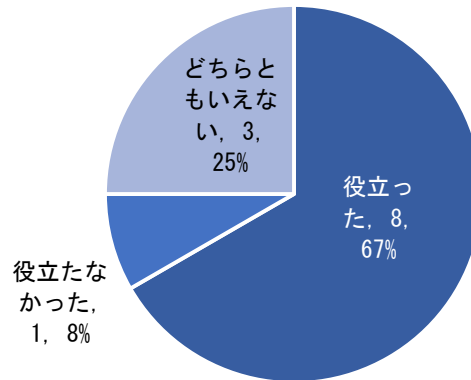


9 各種ガイダンスや国家試験受験対策講義についてお聞きします。

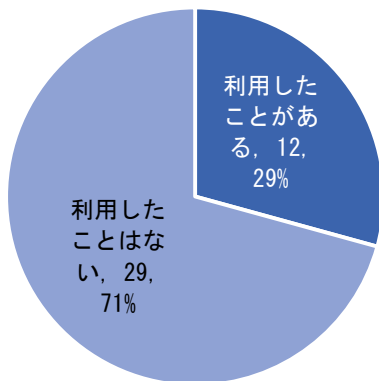
1) web 上の学習ガイダンスまたはレポートアドバイスの視聴したことがありますか。



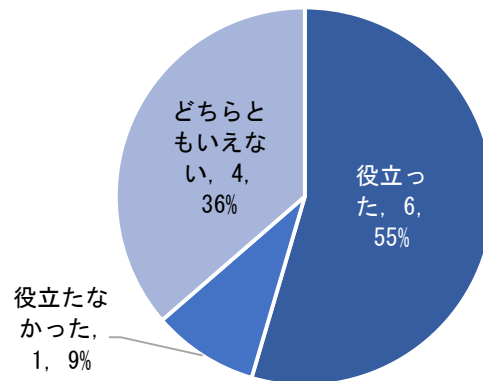
2) web 上のアドバイス・ガイダンスを視聴した方は感想をお知らせください。



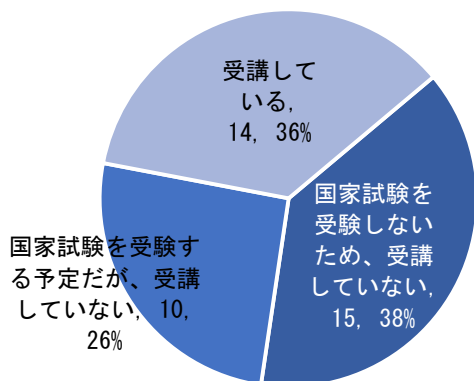
3) スクリーニングやガイダンス・科目修了試験時に通信教育部・卒業生と話す機会を設けている会場がありますが、相談（雑談を含む）したことがありますか。



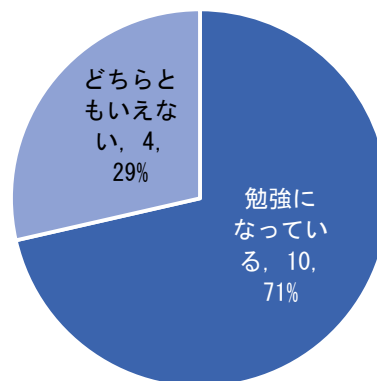
4) 卒業生と話す機会を利用した方は感想をお知らせください。



5) 社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験対策講座の模擬小テストを受講しましたか。

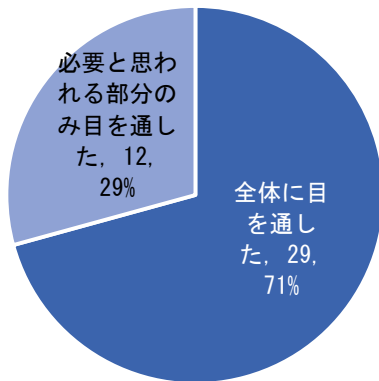


6) 模擬小テストを受講している方は感想をお知らせください。

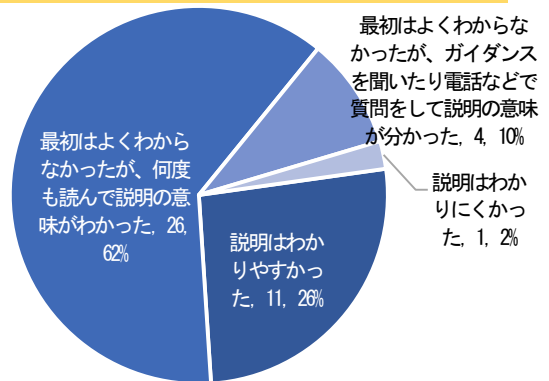


10 『学習の手引き』『試験・スクーリング情報ブック』『With』についてお聞きします。

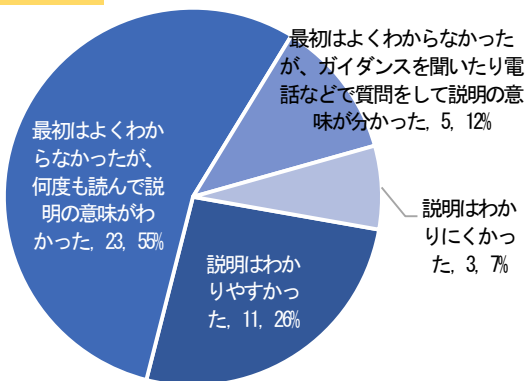
1) 入学時に『学習の手引き』に目を通されましたか。



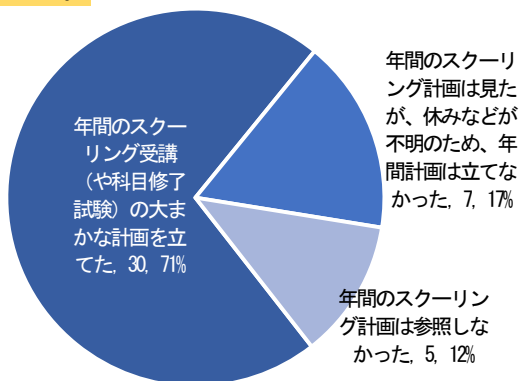
2) 『学習の手引き』などに記載の通信教育部での学習方法の説明について、いかがでしたか。



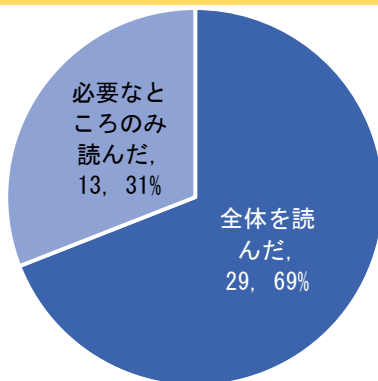
3) 『学習の手引き』『レポート課題集』などにおける演習・実習の受講条件や提出課題の説明は、いかがでしたか。



4) 『試験・スクーリング情報ブック』でスクーリングの年間計画を公表していますが、どの程度活用されましたか。

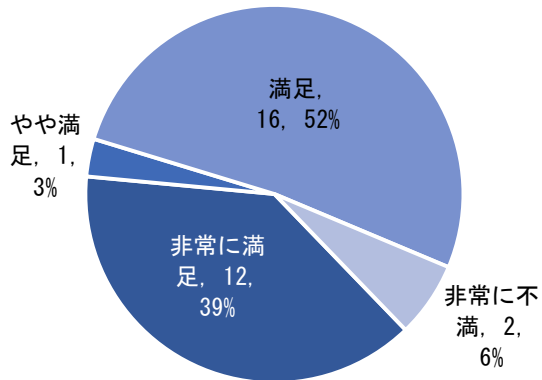


5) 機関誌『With』(年8回発行)はどの程度読まれましたか。

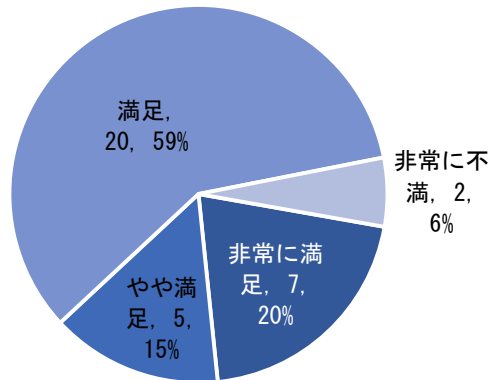


11 通信教育事務部の職員の対応についてお聞きします。

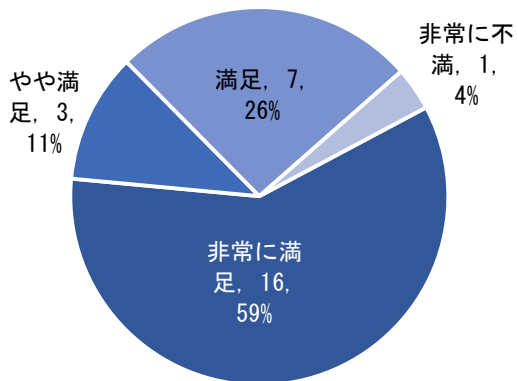
1) 窓口にてご質問されたことがある方にお聞きします。職員の説明はいかがでしたか。



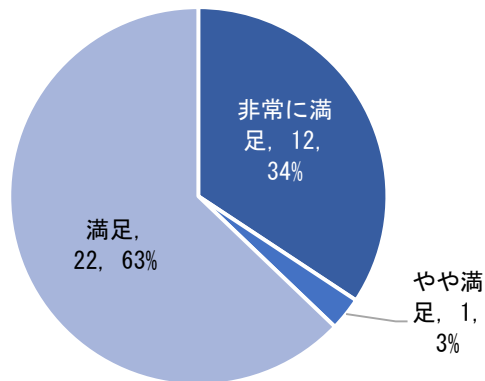
2) 電話にてご質問されたことがある方にお聞きします。職員の説明はいかがでしたか。



3) メールにてご質問されたことがある方にお聞きします。職員の説明はいかがでしたか。

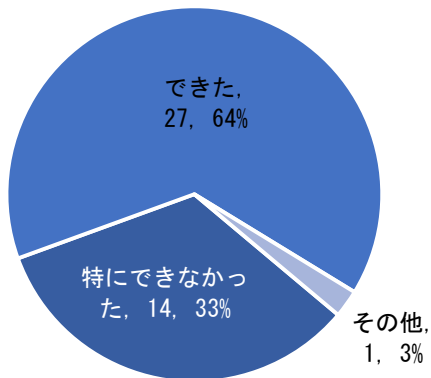


4) 仙台会場以外の会場で、スクーリング・科目終了試験を受講したことがある方にお聞きします。現地スタッフの対応はいかがでしたか。

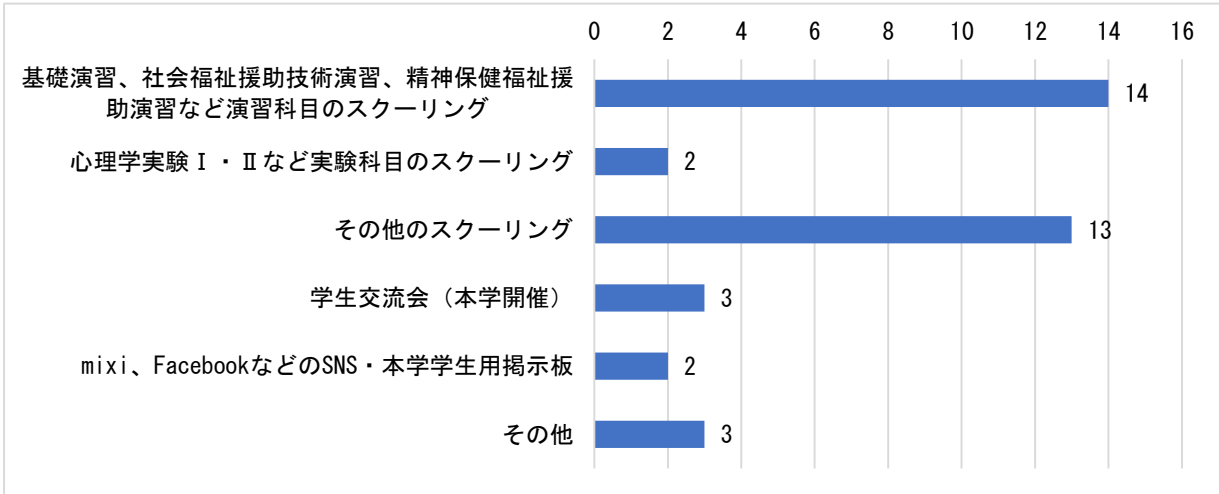


12 通信教育部内の学習仲間についてお聞きします。

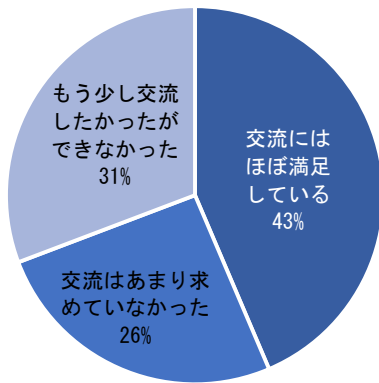
1) 通信教育部で共に学ぶ「学習仲間」はできましたか。



2) 「学習仲間」はどのようなことがきっかけでできましたか（複数回答可）。

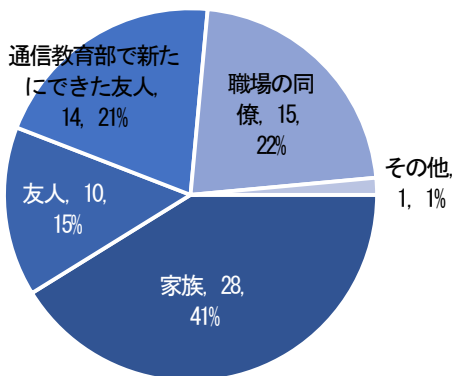


3) 通信教育部で学ぶもの同士の交流について満足できましたか。

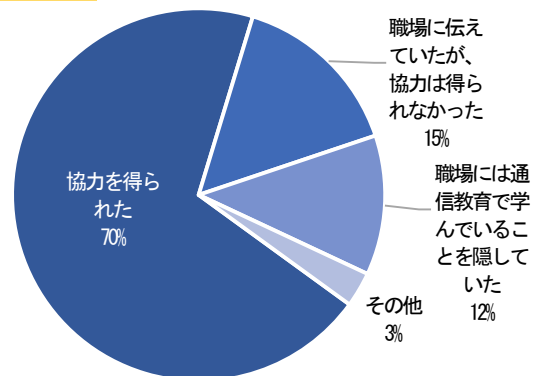


13 学習の協力者についてお聞きします。

1) 学習を進める上でどのような方から理解・協力を得ましたか（複数回答可）。

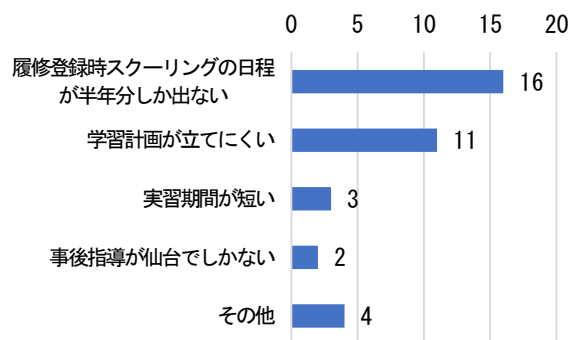
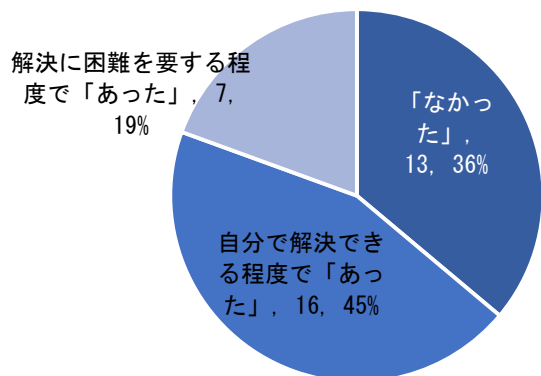


2) 在学中働いておられた方にお聞きします。通信教育で学ぶことについて職場の協力は得られましたか。

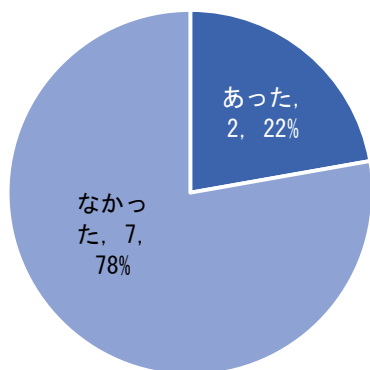


14 (10月生の方へ) 10月生として学習するにあたって、とくに不利だと感じたことはありましたか。

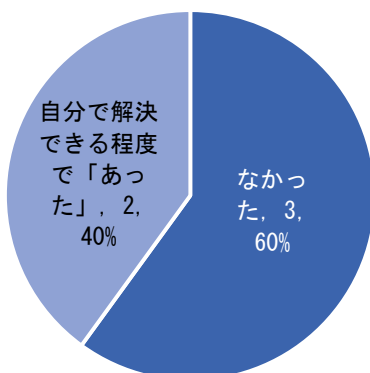
「あった」と回答した方は、具体的内容についてお答えください。



15 「社会福祉援助技術実習」免除者の方にお聞きします。実習免除の方が学習を進めるうえで何かお気づきの問題はありませんでしたか。



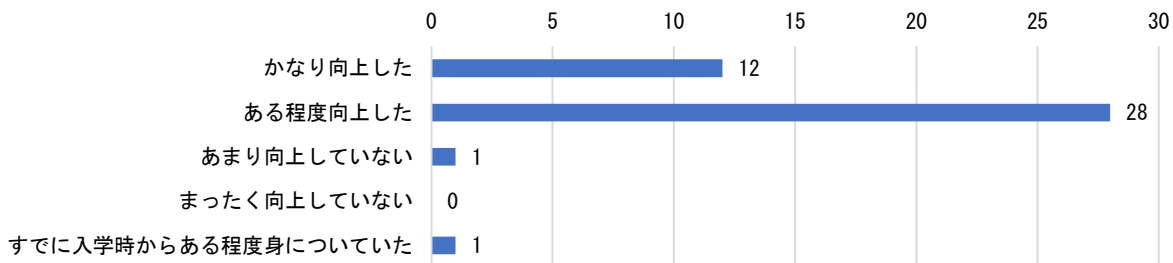
16 (2002-2008年入学・旧カリキュラム受講の方へ) 旧カリキュラム受講者として、不明・わかりにくいと感じたことはありましたか。



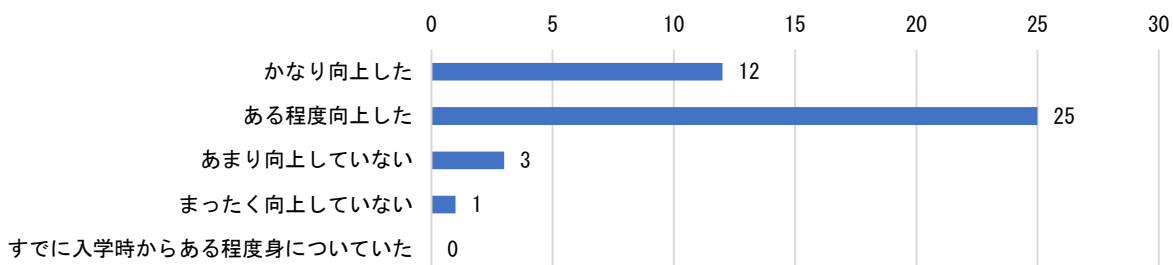
17 自己評定による「学士力」の達成度として、通信教育部での学びのなかであなた自身が身につけた（または「向上した」を含む）と思うものについてお聞きます（主観的な判断で、一番あてはまるもの1つに○をつけてください）

### 1) 知識・理解など

①（社会福祉学科・社会教育学科の方）社会福祉・社会教育に関する基礎的な知識が身についた。（福祉心理学科の方）人の思考・感情・行動の原理や法則、理論について説明できる心理学の基礎的知識が向上した。

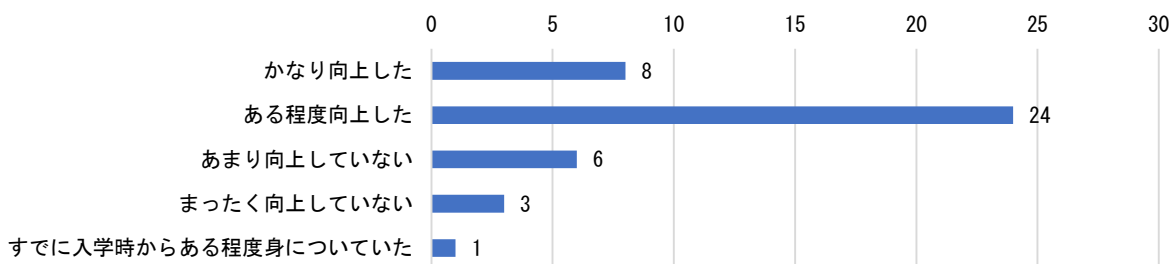


②さまざまな人が抱えている生活上の問題や心理的問題への支援に利用できる実践的知識が向上した。

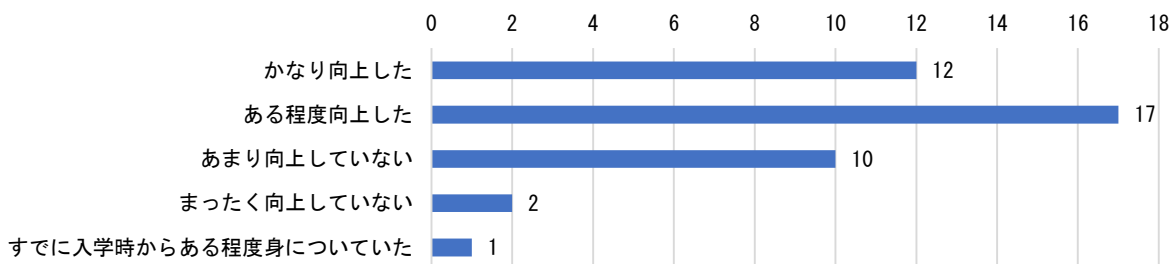


### 2) 汎用的技能など

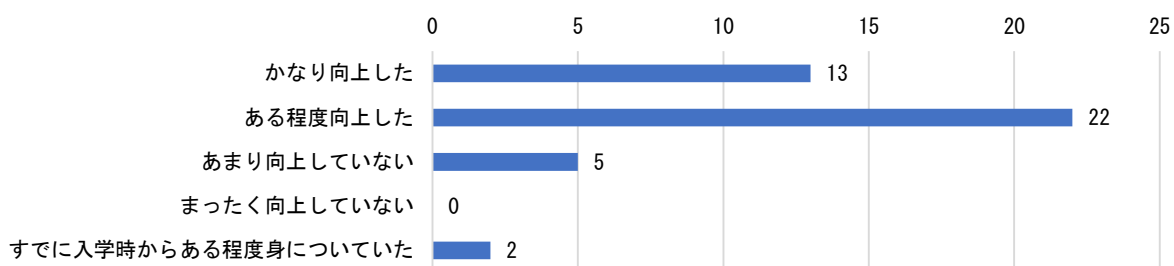
③求められる成果の趣旨を理解し、必要な情報を精査・選択し、わかりやすい文章や言葉で他者へ伝える力が向上した。



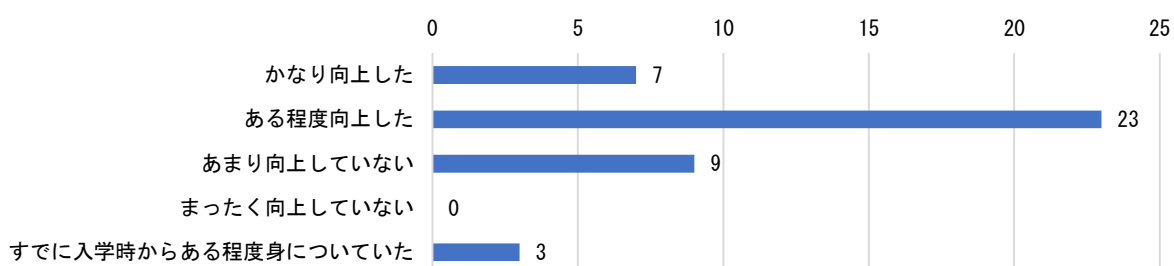
④自分の意見を筋道立てて論理的に表現する力が向上した。



⑤参考図書やインターネットを用いて必要な情報を収集する力が向上した。

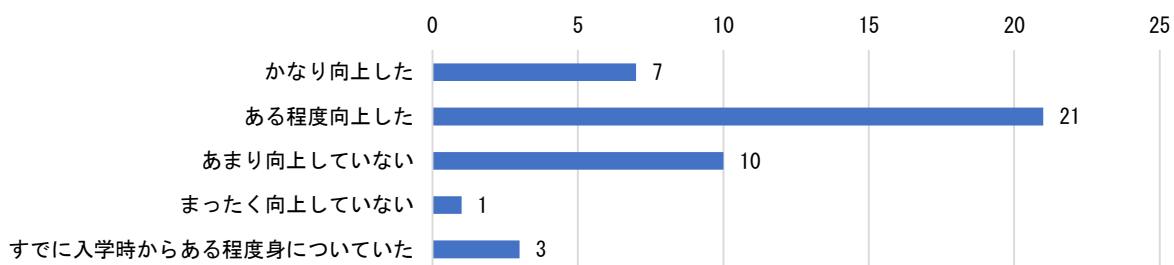


⑥自ら問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、問題を解決・調整できる基礎的な力が向上した。

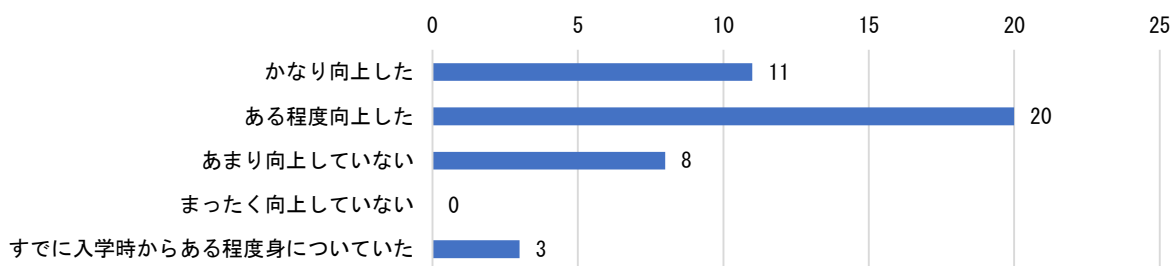


### 3) 態度・志向性など

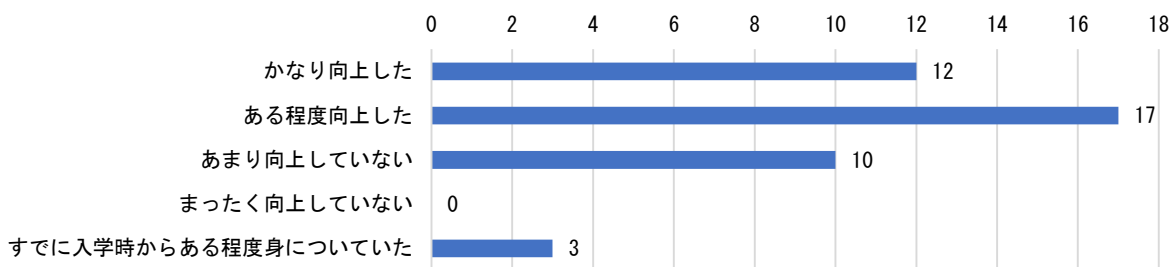
⑦時間の管理、感情や欲求の適切なコントロール、状況に応じた適切な行動など、自らを律する力が身についた。



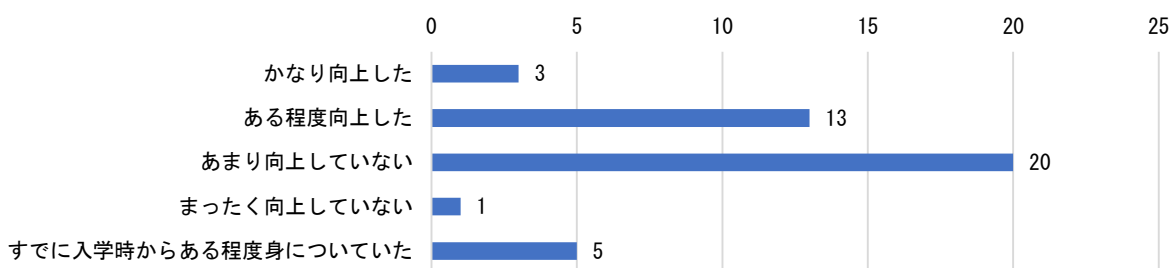
⑧多様な価値観を理解し、自己とは異なる意見や考え方をもち人々とコミュニケーションをとれる力が身についた。



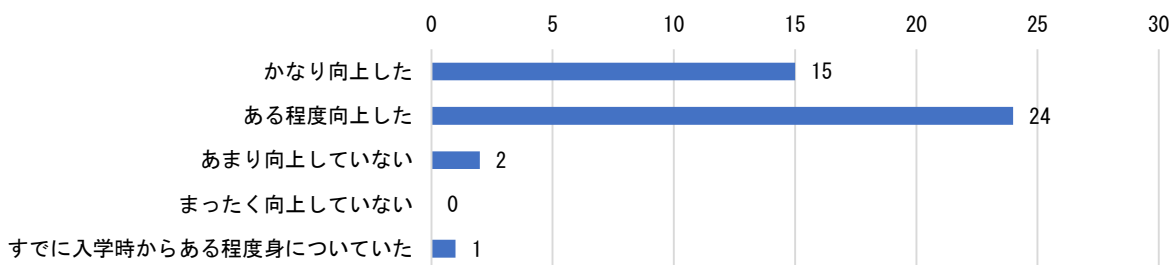
⑩自分に対する自身が身についた。



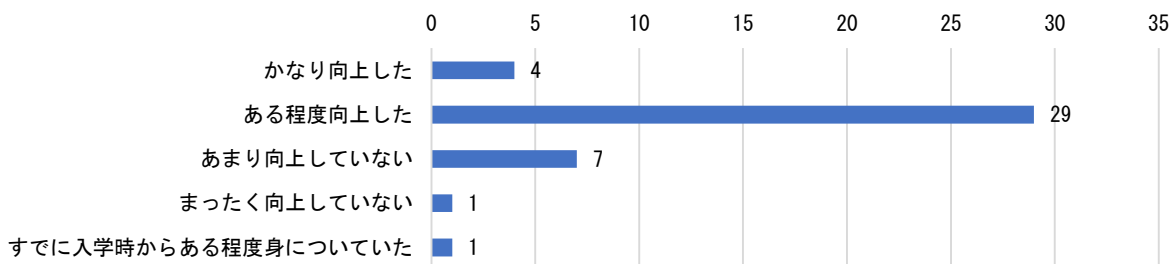
⑩他者と協力したり、時にはリーダーシップを発揮して問題解決に取り組む力が身についた。



⑪人間の尊厳や基本的人権を尊重し、人びとの幸せや地域・社会の発展のために積極的に関与しようとする姿勢が身についた。

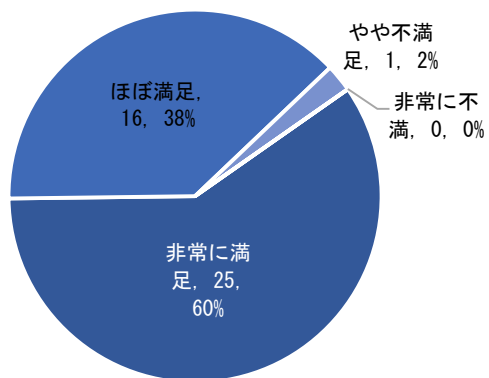


⑫卒業した学科での学びを統合的に活用し、自ら課題を設定し、理論と実践を融合しながら解決策を導き出す力が身についた。





18 あなたは東北福祉大学通信教育部で学んで満足できましたか。



**通信教育部での学習が日常生活に役立った、あるいは役立たなかった理由を具体的にご教示ください**

**【社会福祉学科】**

- ・社会福祉が生活に困難をもたらす人だけでなく、私たち生活をしていく上で必要不可欠なものであり、一人ひとりが自覚していかなければならないものであることを知った。社会福祉について自分なりの意見を持ちながら、広い視野で仕事にも取り組むことができるようになった。（同意見多数）
- ・世の中で起きていることに敏感になり、それを自分の視点からだけで物事を捉えるのではなく、様々な立場・角度から考えてみようという意識が身についたと思います。（同意見多数）
- ・福祉関連の法律や精神疾患についてなどの専門的知識などを身につけることができ、実践に大いに役立っている。（同意見多数）
- ・レポートを書くことで知識を取り込むだけでなく、文章をまとめたり情報や文献を調べたりすることが身についた。物事を考えるとき、理論的に考えられるようになった。（同意見多数）
- ・特に権利擁護について、職場で起きうる事例を具体的にイメージしながら学ぶことができたことが役立っています。実際の支援の場面でも自分の意見を周りへ伝えることができるようになりました。
- ・地域で民生委員となり、見よう見まねで役割に当たってきましたが、社会福祉の基本理念や全体像、地域課題の捉え方や対応について理解を深める必要があると痛感していました。これらのことについて、基礎を身につけることができたことが大きな成果だと考えています。
- ・保育士をしています。子ども達の個々の特性や気持ちを大切にしたいと考えるようになりました。表出されている言葉や態度の奥に何があるのか、洞察しようとする姿勢が身につけてきているように思います。
- ・「東北福祉大卒」というバックボーンができたおかげで、自信を持って業務に取り組むことができるようになった。
- ・勉強することの大切さ、楽しさ、辛さを知ることができ、これからの自分の生き方に大きく役立つと思う。

**【福祉心理学科】**

- ・様々な事例・現象などを学ぶことにより、実社会で生じる問題に対し、客観的に物事を見られるようになった。（同意見多数）
- ・入学以前より人の心の仕組みを理解できるようになった。
- ・心理学や福祉についての知識を学ぶことができ、TV・新聞で取り上げられている課題、問題について深く考えられるようになりました。母親が要介護者なのですが、大学で学んだことにより、より介護保険などについてもわかるようになりました。
- ・一度考えを再確認し、「本当にこれでよいのか？」と自分だけでなく相手の気持ちも立ち止まって考えることができるようになりました。考える力が養われた気がします。
- ・学習を進めていくうちに自己分析もできるようになり、入学前とは比べものにならないほど自己コントロールできるようになった。
- ・障害者の施設に勤務しているので、日々の利用者支援に役立っています。
- ・まだまだ未熟ではありますが、仕事でよりよい支援のあり方を考えることへ役立っていると思います。家庭ではこどもの想いや行動の理解に役立っています。

## 通信教育部で得た資格・学んだことを今後どのようにいかしてみたいとお考えですか

### 【社会福祉学科】

- ・相談援助の仕事やボランティアに活かしていきたい。社会的に弱い立場にいる方々が少しでも生活がしやすくなるよう手助けがしたい。(同意見多数)
- ・精神障害の分野に飛び込み、活かしていきたい。
- ・アドラー心理学カウンセラーとしてスクールカウンセラーの経験をしてきたが、資格を取って相談支援の仕事をしていきたい。
- ・地域活動でレスパイト・ケアのボランティアグループを作っているので活動の幅を広げたい。
- ・現在地区社協の福祉委員、町内会の災害対策委員に従事している。これからも地域の一社会資源として学習したことをベースに役割を果たせればと考えている。
- ・市民後見人活動に活かしたい。
- ・公民館活動に活かしたい。
- ・これから地域の主任児童委員を担当するので、地域活動に学んだことを活かしていきたい。
- ・高齢者福祉、知的障害者福祉等の仕事の現場のスキルアップに活かします。
- ・社会福祉士の活躍する可能性を開拓していきたいと思っています。
- ・多文化共生コミュニティソーシャルワークの展開に寄与していきたい。
- ・今後特別養護老人ホームの介護員として働き始める予定です。福祉専門職として、価値・倫理を大切に利用者の方へ接していきたいと思います。
- ・介護員としてしか働いたことのなかった私は大学で学び、一人の利用者の援助に対して様々な方向から多職種・多機関が結びついてその方の生活が成り立っていることを理解することができました。得た知識をもとに、住みよい地域や社会を作れるようなソーシャルワーカーになれるよう頑張ります。
- ・子どもたち、これからの未来の子どもたちに大いに大学での学びを使っていきたい。
- ・職業として社会福祉に関わることは考えていませんが、身近に困っている人がいたとき、なにか情報を提供できればと思います。また、大学で学習する中で関心を持ったことについて、自分なりに深めていきたいと考えています。
- ・もっと深く学んで、今後生じる福祉の分野で解決すべき課題に対応していきたい。

### 【福祉心理学科】

- ・周囲の人たちとのコミュニケーションの取り方に応用し、心豊かな生活ができればと考えている。
- ・生涯学習としてテキストを読み直し、日々の生活に役立てたいです。また、学んだことを家族・知人にも伝え、周囲の人たちの生活に役立てたいです。
- ・仮設住宅を抜け出し、新居を構えたのちの転職を考えている。避難中の人たちや障害を抱えた子供たちのケアなどに役立てていけたらと考えている。
- ・学んだことが自信になっています。日々の利用者支援において、より専門性の高い支援を実践していきたいです。
- ・学んだことを活かせる仕事があれば就きたい。さらに学びを深める大学院に進学を考えている。

## 学習をしていて辛かったことはありましたか

### ① 辛かった内容

- ・仕事・家事・育児などに追われ、時間がなかなか取れなかったこと。(同意見多数)
- ・レポートを書いたことがなく、なかなか書くことができなかった。(同意見多数)
- ・仕事が多忙で毎日残業になるなか、家事もこなし、土日にはスクーリング出席やレポート作成をして、身体的・精神的に辛かった。
- ・自宅学習が孤独で辛かった。
- ・社会福祉士の倫理性を考えたときに考え込んでしまい、レポートが進まなかったこと。
- ・学習計画に沿ったレポート提出が必ずしも順調には進まなかったとき。卒業間近にレポートがたまってしまったこと。
- ・1年次入学だったが、3年生になってから学習が急に難しくなったと感じ、大変だった。
- ・1年目に根詰めすぎたせいで、2年目の最初で疲れてしまい、レポートが数か月書けなかった。
- ・資格取得などの明確な目標がなかったので、モチベーションの維持が難しかった。
- ・1年目はどのように学習を進めていけばよいか悩み、ほとんどレポートが出せなかった。相談できる人もいなかった。

## 学習をしていて辛かったことはありましたか

### ② 克服・対処した方法

- ・スクーリングで友達を作り、同じような境遇の方が頑張っていることが励みになり、自分も頑張ることができた。メールのやりとりをして、元気をもらいました。(同意見多数)
- ・毎日少しずつでも勉強するほうが効率がよいと考えたため、やむを得ず睡眠時間を削った。
- ・スクーリング参加時に「早めに学習を進めるよう努力した方が良い」と他の学生からアドバイスを受け、やる気になった。
- ・遊びと学習のメリハリをつけた。
- ・実習の演習等でのグループワークで自己覚知をしたり、助言等をもたらしたりした。
- ・神経質になってもしょうがないので、気長にやろうと考え直した。
- ・レポートの構想については単純ながら「レポート課題集」の「レポート課題」と「アドバイス」を繰り返し熟読、理解を深めていくことが近道であることに途中で気付いた。
- ・レポートが再提出になっても、それも勉強だとプラスに考えることにした。
- ・入学した目的が何か振り返り、将来の夢をイメージした。
- ・レポートの書き方の参考文献を購入し学習した。
- ・レポート提出期限の前になるべく仕上げるよう早めに計画的に取り組んだ。2年で卒業を目標に頑張った。
- ・家族や友人に学習の進捗状況を聞いてもらい、一人で抱えることをやめた。
- ・ある科目のレポートに詰まったとき、自分が理解しやすい科目から始めることにした。レポート作成に慣れた頃に、以前書けなかった科目のレポートに取り組んだら書けるようになっていた。

## 学習をしていて辛かったことはありましたか

### ③どうすれば対処・回避できたと思うか

- ・深く考えず、気の向くままに。本当はもっと計画的に学習すれば早くできたと思う。でも、追い込みすぎると苦しくなって続かなかったと思う。時間がかかったが、結果を求めすぎなかったのが良かったのかもしれない。
- ・ある程度自分に自信を持つことが大切。
- ・これだけ頑張っているのだから、大丈夫という気持ち。
- ・一人で悩まず、仲間を作り、分からないことは積極的に聞く。仲間に追いつきたいと思って頑張った。

## 学習をしていて楽しかった（面白かった）ことはありましたか

### 「あった」と回答された方は具体的にどのようなことでしたか

- ・スクーリングが大変面白かったです。参加できるスクーリングはなるべく参加しました。(同意見多数)
- ・学んでいくうちに、当初あまり関心のなかったことにも関心が持てるようになった。世界が広がっていく感じが嬉しかった。(同意見多数)
- ・一緒に頑張る仲間ができたこと。みんながそれぞれ自分の人生を目的に向かって歩いていて、とても刺激になった。(同意見多数)
- ・知識が増えたこと。毎回テキスト、参考文献を読むたびにワクワクできた。
- ・知識が整理されていくことや、仕事で役立てられた時が面白く感じました。
- ・生活の中で不思議に感じていたことが理由付けされたとき。
- ・講義で社会福祉の制度を振り返ったことが興味深かった
- ・人格心理学のレポートで人格諸理論の視点から自己分析をするという課題があり、福祉心理学に入学し、専門的に自分を分析するという学習が未知数で楽しかったです。
- ・スクーリング時での仲間との情報交換や毎回女子会を開き、学習以外の話題で楽しく時間を過ごせたこと。

## 「レポート学習」について在学生へのアドバイスがあれば教えてください

- ・ちりも積もれば山となる。少しずつ進めていくことが大切。(同意見多数)
- ・書き初めが億劫だと思っている方は最初から完璧なレポートは求めず、書いたらとりあえず提出してみたいかがでしょうか。再提出になっても先生からの的確なアドバイスをいただけます。再提出を行えばいつかは単位が取得できると思います。先生とのやりとりを楽しんでみてはいかがでしょうか。(同意見多数)
- ・教科書のコピーアンドペーストにならないように気をつけたほうがいい。
- ・先生が講義中に何度も繰り返したりする言葉は重要なので、レポートに記載すべきです。オンデマンドではわからない場合は何度も見直すことをお勧めします。必ずヒントがあります。
- ・『レポート課題集』を何度も読み直し、先生がなにを求めているのか捉えるとスムーズだと思います。また、レポート課題の範囲が広いと思ったら何かに絞ってみる（たとえば人と動物の違いについてなら、人と犬の違いについて絞ってみることで人と動物の違いを考えるとか）と書きやすいです。
- ・言葉の概念をきちんと辞書で調べ整理するとその言葉が使いやすくなります。
- ・新聞やテレビ報道等にも気を置き、社会の「風」を感じるアンテナを立てておくこともレポートを書く際に役立つと思う。
- ・人によっては1科目だけに集中してレポート課題に取り組む方が楽な方もいるかと思うが、私は関連

した科目を2・3同時進行でレポートに取り組む方が楽だった。1か月に2科目を目標とした。"

- ・少しの時間でも毎日レポート課題に関係する箇所を目を通すだけでもレポートの仕上がりが早いと思いますし、考えも深くなるような気がします。"
- ・文献はたくさん読んでいると必ず同じ内容のところがどの本にもある。そこが大事なところだと気付く科目もあった。参考文献など教科書以外の本を必ず読むことが大事。
- ・教科書を読むだけでは苦勞すると思う。可能であるならスクーリングを受けた上で取り組んだ方が書きやすいと考える。
- ・スクーリングでその科目を完結させるため、スクーリング出席前にすべてのレポートを提出することをお勧めします。スクーリングの予習にもなります。

### **科目修了試験のためにどのような勉強を行いましたか**

- ・過去問題を回答し、出題の傾向をつかむ。(同意見多数)
- ・一週間前からテキストの重要ポイントについてまとめたり、テーマごとに分けたりして頭に入れる。(同意見多数)
- ・頭の中だけで反芻するのではなく、書くことによって頭に叩き込んだ。(同意見多数)
- ・予測した試験問題からノートを作成し読み返す。
- ・重要ポイントをひとに説明する形でまとめて覚えた
- ・日々の空き時間にポイントを覚える。

### **オンデマンド・スクーリングを受講してのご感想・ご意見・改善案等**

- ・スクーリングに行けない場合などオンデマンド・スクーリングはとても助かりました。自分の時間に合わせて視聴できるので、じっくり考えてレポートなどに取り組めるのでよかったです。(同意見多数)
- ・できれば、画質・音質をもう少し向上すれば助かる"
- ・繰り返しや巻き戻しできるので理解が深まりました。
- ・会場での受講は移動・宿泊と金銭的にも、仕事の休みを取る上でも大変なことが多いため、オンデマンドはとても役に立つシステムだと思いました。実際に会場にいるような感覚で受講できました。

### **『with』の活用方法・意見**

- ・先生方のアドバイスや卒業生の方のメッセージにとっても勇気づけられました。現在の福祉の問題・現状などを知ることでもでき、いつも楽しみにしておりました。
- ・学習の手引き等で見落とししてしまった部分など、再確認するのに役立った。
- ・スクーリングの予定を中心に読んだ。
- ・大学との絆のように感じていた。
- ・他の学生のスクーリングを受講しての感想を読むことで、自分も考えさせられることがあった。

## 「学習仲間」とのどのようなことを協力しましたか

- 精神面での助け合い。お互いに励まし合い、思うように進まない学習の愚痴を言ったり笑ったりしていた。一緒に学習している、自分だけが辛いわけじゃないと頑張れた。(同意見多数)
- まとめにくい課題レポートについてアドバイスをもらった。時々メールで現状を報告し合って、モチベーションが下がらないように励まし合った。(同意見多数)
- 図書館での参考図書、この本はよかったとかの情報交換。
- 講義で聞き落した個所や重要と思われる部分の再確認、科目終了試験の問題傾向などを予想しあった。
- わからないところ、聞き逃したところをお互いに補い合ったり、卒業に向けてすべきことのアドバイスを受けたり、したりした。
- ホテル情報、提出物の期日の確認、スクーリングの情報などを交換し合った。とにかくお互い頑張ろうと声を掛け合った。何回かともに食事をし、大いに笑った。協力より楽しんだ。